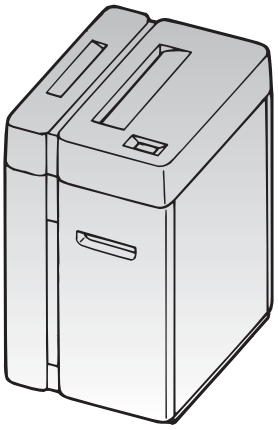
株式会社明光商会

MSシュレッダー

MS-F10
取扱説明書



■このたびは、MSシュレッダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
MSシュレッダーは皆様に安心してご使用いただけますよう安全性を第一に設計し、製作いたしております。なおご使用前には、この取扱説明書をよくお読みいただきいつまでもご愛用くださいますようお願い申しあげます。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。

● もくじ

安全上のご注意	1
各部の名称とはたらき	3
細断時の注意	4
使いかた	5
細断クズの捨てかた	6
こんなときは	7
お手入れ	8
アフターサービス	9
仕　様	

安全上のご注意

機械の性能を充分発揮させるため、また安全にご使用いただくために、次の注意事項をお守りください。

⚠警告

1. **乳幼児・お子様はけがをするおそれがありますので近づけないでください。**
   内部にカッターがあり、思わぬ事故のおそれがあります。

2. **お子様だけで使わせたり幼児の手の届くところでは使わないでください。**
   やけど・感電・けがをするおそれがあります。

3. **表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。**
   またタコ足配線をしないでください。
   火災・感電の恐れがあります。

4. **この機器を分解しないでください。**
   内部にはカッターがあり、けがのおそれがあります。

5. **電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、重い物を乗せたり、引っぱったりしないでください。**
   電源コードをいため、火災・感電の恐れがあります。

6. **この機器を改造しないでください。**
   火災・感電のおそれがあります。

7. **万一、発熱したり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。**
   すぐに電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンコントから抜いてください。
   その後販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。

8. **万一、異物＜金属片、水、液体＞が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。**
   そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。

9. **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
   感電のおそれがあります。

10. **ボタン電池等の電池類は絶対に細断しないでください。**
    火災のおそれがあります。

⚠警告

11. **投入口や排出口に絶対に手や棒などを入れないでください。**
内部にカッターがあり、けがの原因となることがあります。

12. **カッターが紙を引き込む力は強力ですので、絶対に紙を指で押し込んだり、つかんだりしないでください。**
引き込まれて、けがの原因となることがあります。

13. **髪の毛、ネクタイ、ネックレス、着衣のそで、ブレスレット、時計のチェーンなどを投入口にたらさないでください。**
引き込まれてけがの原因になることがあります。

⚠注意

1. **細断してはいけない書類などは投入口付近に置かないでください。**
誤って細断されるおそれがあります。

2. **紙・CD・FD以外のものは投入しないでください。鉄板、金属類、非鉄金属類、カーボン紙、湿った紙、粘着シール、粘着テープ付封筒、宅配便の送り状、荷札テープ、セロテープ、ガムテープ、布テープ、OHPフィルム、各種フィルム類、ビニール類、ポリ袋、ガラス類、マグネットシート、ゴム類、布類、皮類の細断はしないでください。**

3. **＜ぐらついた台の上や傾いたところ＞など不安定な場所に置かないでください。**
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

4. **湿気やほこりの多い場所に置かないでください。**
火災・感電の原因となることがあります。

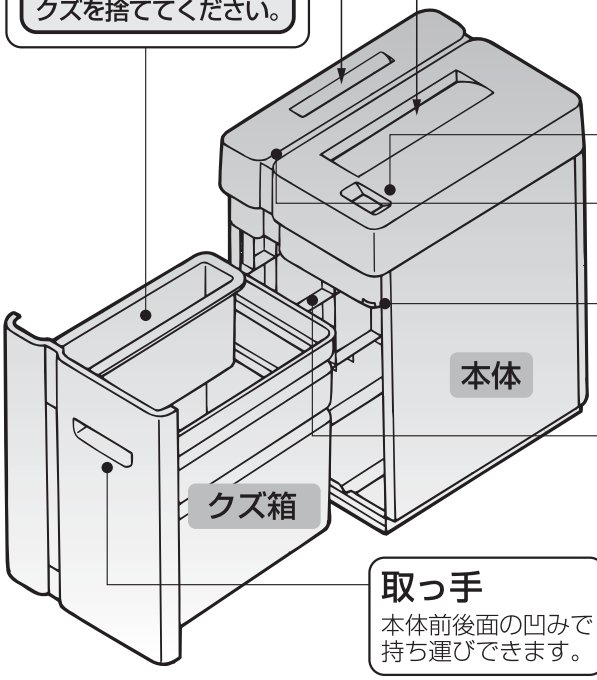
5. **この機器を移動させる時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。**
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

6. **作業が終了した時は、電源を切ってください。また、長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
火災の原因となることがあります。

7. **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず電源プラグを持っておこなってください。**
コードの断線による火災の原因となることがあります。

8. **本製品を直射日光の当たる場所に設置しないでください。**
電子部品の誤動作や故障の原因となることがあります。

各部の名称とはたらき



メディアトレイ
CD10枚またはFD5枚までためられます。

⚠注意
必ず限度枚数以内でクズを捨ててください。

データメディア投入口
◆センサー位置：投入口中央
センサーがメディアの投入を検知すると自動で細断を開始します。

用紙投入口
◆センサー位置：投入口中央
センサーが紙の投入を検知すると自動で細断を開始します。

操作部（下図参照）

表示部（下図参照）

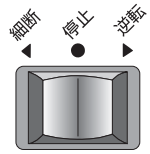
クズ箱センサー
センサーがクズ箱の収納を検知しなければエラーとなり細断できません。

排出口
細断されたクズがクズ箱へ落ちるため開口しています。

⚠警告
内部にはカッターなどがあり、大変危険です。絶対に手など入れないでください。

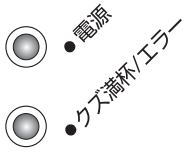
取っ手
本体前後面の凹みで持ち運びできます。

操作部



細断	電源ランプが緑色に点灯します。 投入口に細断物を入れると、細断ができます。
停止	電源が切れます。 長時間ご使用にならない時は電源をお切りください。
逆転	押している間だけ逆転ができます。 細断物が詰まった時などにご使用ください。

表示部



電源	電気が通じている時は緑色に点灯します。 ランプが点滅している時は5ページをご参照ください。
クズ満杯/エラー	クズ箱が細断クズでいっぱいになった時等は赤色に点灯します。 ランプが点灯している時は5ページをご参照ください。

細断時の注意

MS−F10は紙及びCD・FDを細断できますが、操作の手違いにより細断物が詰まったり、故障の原因となることがあります。以下の項目は必ずお守りください。

＜1　細断するものについて＞

★天面には2種類の投入口があり紙専用とデータメディア専用となります。
★用紙投入口には紙類のみ投入してください。鉄板、金属類、非鉄金属類、湿った紙、カーボン紙、ノリの付いた紙、粘着シール、粘着テープ付封筒、宅配便の送り状、荷札テープ、OHPフィルム、各種フィルム類、ビニール袋、ポリ袋、ガラス類、マグネットシート、ゴム類、布類、皮類、電池類などは入れないでください。
　また、CD・FDも投入しないでください。
★データメディア投入口にはCD・FDのみ投入してください。
　また、紙などの投入も故障の原因となりますので、投入しないでください。

＜2　紙を投入するとき＞

★紙は用紙投入口に投入してください。
★紙を投入する時は極力そろえて投入してください。乱雑に入れると紙詰りの原因となることがあります。
★このシュレッダーではA4サイズ縦方向以下の幅の用紙が細断できます。
　それ以上の紙を細断する時は、あらかじめ切り分けるなどしてください。
★このシュレッダーでは同時に細断出来る用紙の枚数がA4PPC用紙で10枚となっています。
　10枚以上の枚数にて投入すると、赤いランプが点灯しオートリバース（自動停止・自動逆転）することがあります。
　オートリバースした時は機械の停止を確認し、用紙を引抜き、枚数を10枚以下に減らした後、再度投入してください。
★連続で投入したい場合には、前の紙が切り終わってから投入してください。
　前の紙が切り終わる前に投入すると、オートリバースしたり、カッター部分に負担がかかり、故障の原因となる可能性があります。

＜3　データメディアを投入するとき＞

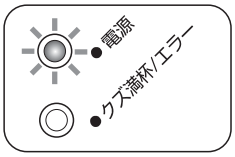
★データメディアはデータメディア投入口に投入してください。
★データメディアを投入する時は溝にあわせて投入してください。
★データメディアの投入は一枚づつ行ってください。
★データメディアを連続で細断する時は、投入枚数がCD10枚以内、または、FD5枚以内でメディアトレイ内のクズを捨ててください。限度枚数を越える細断を行うと、クズ箱が引出せなくなる可能性があります。なお、クズを捨てる際はP.6の細断クズの捨てかたの手順にしたがってください。
★データメディアを連続で投入したい場合には、前のデータメディアが切り終わってから投入してください。
　前のデータメディアが切り終わる前に投入すると、オートリバースしたり、カッター部分に負担がかかり、故障の原因となる可能性があります。

＜4　細断中にブザーが鳴動したら＞

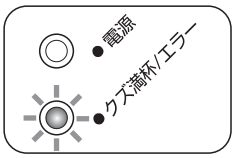
このシュレッダーには、お客様の安全の為や故障を防ぐ為に安全装置がついています。
ブザーが鳴動したら細断を中止し、P.6の細断クズの捨てかたの手順にしたがってください。

＜5　細断中にランプが点灯したら＞

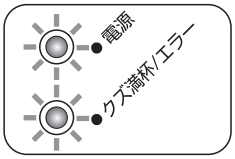
このシュレッダーには、お客様の安全の為や故障を防ぐ為に安全装置がついています。
ランプが点灯したら細断を休止し、下記の手順にしたがってください。



★緑のランプが点滅している時は以下を確認してください。
　扉の開閉・モーター過熱防止からの復帰後に、投入口に用紙がある場合は、緑のランプが点滅します。
　→電源を一度OFFにし、再度電源をONにしてください。
　　投入口にある用紙は、そのまま細断できます。



★赤いランプが点灯している時は以下を確認してください。
　①クズ箱が開いています。
　→クズ箱を奥まで収納すると赤いランプは消灯します。
　②たくさんの用紙を一度に投入した時にランプが点灯した場合。
　→オートリバース（自動停止・自動逆転）を行います。
　　投入する枚数を減らし、再度投入してください。
　③数十分連続で用紙を細断した時にランプが点灯した場合。
　→モーターの過熱防止装置が働いています。30分程度細断を休止してください。再び細断が可能になります。
　④約30分連続で細断を行った場合。
　→投入口センサー部分での、連続運転防止装置が働いています。
　　電源を一度OFFにし、再度電源をONにしてください。
　　投入口にある紙はそのまま細断できます。

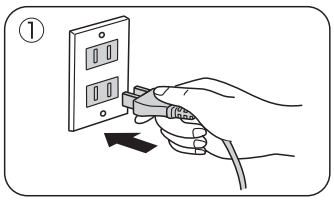


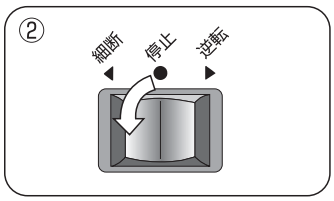
★赤いランプと緑のランプが点灯（点滅）している時は、電源を一度OFFにし、再度電源をONにしてください。それでも、ランプの表示が継続される時は、すぐに電源プラグを抜き、販売店へご相談くださいませ。

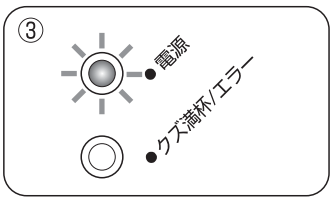
使いかた

1.電源プラグを差し込み、電源スイッチを「細断」に入れます。

①電源プラグをコンセントに差し込む。
②スイッチを細断側に押します。
③緑のランプが点灯し待機状態になります。







2.細断したい紙やデータメディアを投入口に入れます。

投入口には細断物を検知するセンサーが設置してあり、センサーの検知にあわせカッターが自動に回転し始めます。用紙は10枚まで、CD・FDは1枚までが一度に細断できる枚数となります。

3.細断終了。

細断が終わると自動で停止します。

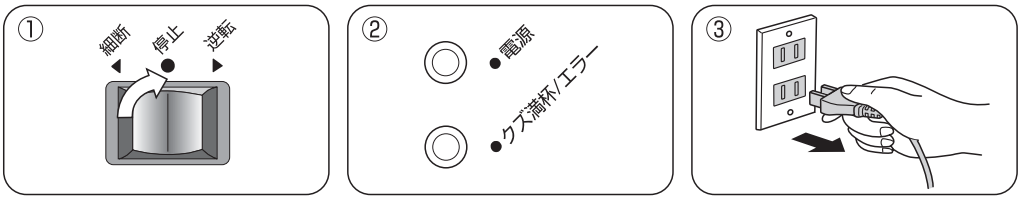
細断クズの捨てかた

ブザーが鳴動したら以下の手順で細断クズを捨ててください。

このシュレッダーでは、クズの量をセンサーで検知して、自動で停止をさせる安全装置がついています。センサーの検知後はセンサーの検知がなくなるまで、細断・逆転は行えません。
ブザーが鳴動しましたら、以下の手順で細断クズを捨ててください。

1.スイッチを「停止」にして電源プラグを抜く。

①スイッチを「停止」に戻します。
②電源ランプが消えたことを確認します。
③コンセントから電源プラグを抜きます。



2.クズ箱を手前に引き出します。

①細断クズがクズ箱の外に落ちないようにクズ箱を手で軽く前後に揺すって、クズを平らにならしてください。
②クズが外にこぼれないように、クズ箱を静かに取り出してください

3.細断クズを捨てます。

細断クズを捨て、クズ箱をもとに戻してください。
本体内に落ちた細断クズは、取り除いてください。

4.メディアトレイ内の細断クズを捨てます。

メディア細断クズを捨て、メディアトレイをもとに戻してください。
メディアトレイをクズ箱内に戻したら、クズ箱を本体に戻してください。

⚠注意

メディアトレイではクズがいっぱいになってもブザーは鳴りません。
必ずCD10枚以内・FD5枚以内でクズを捨ててください。
限度枚数を越えた細断を行うと、クズ箱が引出せなくなる可能性があります。

こんなときは

＜不具合現象＞	＜原因・対策＞
• 電源が入らない	1．電源プラグは正しく接続されていますか？ ⇒コンセント・本体に確実に差し込んでください。 2．電源スイッチは［細断］になっていますか？ ⇒電源スイッチを［細断］にしてください。
• モーターが回らない • カッターが回らない	1．電源スイッチは［細断］になっていますか？ ⇒電源スイッチを［細断］にしてください。 2．センサー部を細断物が通過していますか？ ⇒細断物は投入口の中央を通過させてください。
• モーターが止まらない • カッターが止まらない	投入口に紙がひっかかっていませんか？ ⇒電源スイッチを［停止］に操作し、カッターが停止するのを確認した後、電源プラグを抜いて、紙を取除いてください。
• 紙が逆転してしまう	1．紙の枚数が多すぎませんか？ ⇒枚数を10枚以下にして細断してください。 2．紙が斜めに入っていませんか？ ⇒紙はまっすぐ入れてください。
• ブザーが鳴っている	1．クズ箱がクズでいっぱいになっていませんか？ ⇒P.6の手順にしたがい、細断クズを捨ててください。 2．クズ箱に設置したクズ袋は広がっていますか？ ⇒クズ袋はクズ箱側面にあわせ、広げてください。
• 電源ランプ（緑色）が点滅している	投入口に細断物が残っていませんか？ ⇒クズ箱収納後・モーター過熱防止からの復帰後は電源スイッチを［停止］→［細断］の順で操作してください。
• エラーランプ（赤色）が点灯している	1．クズ箱は奥まで収納されていますか？ ⇒クズ箱を奥まで収納してください。 2．投入した紙の枚数は適切ですか？ ⇒枚数を10枚以下にして細断してください。 3．長時間連続で細断していませんか？ ⇒モーターが高温になっています。30分程度細断を休止して、モーターを冷ましてください。
• 2つのランプが点灯（点滅）している	電源スイッチを［停止］→［細断］の順で操作してください。それでもランプ表示が継続される時は、すぐに電源プラグを抜き、販売店へ相談してください。

• クズ箱が引きだせない

1. 斜めに引出していませんか？
   ⇒クズ箱はまっすぐ引出してください。
2. メディアトレイがいっぱいになっていませんか？
   ⇒CD10枚・FD5枚を細断したら、必ずクズを捨ててください。
   クズ箱を前後に軽く揺すり、クズを均してください。
   強引に引出すと、本体等が破損する場合があります。

• クズ箱が閉まらない

1. 斜めに閉めていませんか？
   ⇒クズ箱はまっすぐ押し込んでください。
2. 本体内にクズが落ちていませんか？
   ⇒本体内に落ちているクズを捨ててください。

お手入れ

1. お手入れの前には必ず、電源プラグを抜いてください。
2. お手入れは外観の汚れを取るだけにとどめてください。
   機械内部にはカッター、歯車などがあり危険です。
3. 外部の清掃はやわらかい布でからぶきしてください。
   汚れがひどいときは中性洗剤をひたした布をよくしぼってふき、その後やわらかい布でからぶきしてください。

⚠警告

1. ご自分で解体、修理されることは危険ですので、絶対にお避けくださ

2. 引火や爆発を引き起こす恐れがあります。カッターへオイル・スプレー類を使用しないでください。

⚠注意

1. お手入れのときは、必ず電源プラグを抜いてください。
   感電の原因となることがあります。

2. 機械へ直接水をかけて清掃することは、絶対にお避けください。

3. ケースをベンジン、シンナー、みがき粉、タワシなどを使って清掃することはお避けください。変形、変色、キズの原因になります。

アフターサービス

1. 保証書

●保証書は「お買い上げ日」と「販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。

●保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 保証期間

お買い上げ日から壱年間です。

3. 修理を依頼されるとき

●取扱説明書の内容をお確かめいただき直らないときは電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理します。
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店までお申し出ください。

●保証期間がすぎている修理

修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
お買い上げの販売店にご相談ください。

4. アフターサービスについてご不明の場合

●販売店にお問い合わせください。

お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

仕　様

機種名	MS-F10	
電源	AC100V　50−60Hz	
定格消費電力	125W	
定格時間	20分	
大きさ	幅 260 × 奥行 350 × 高さ 447㎜	
質量	約10kg	
投入口	紙専用投入口	データメディア専用投入口
投入口幅	220㎜	130㎜
細断方法	クロスカット	三分割ストレートカット
細断寸法	4×38㎜	
定格細断枚数	7枚（A4PPC　64g／m^2）	1枚（CD−ROMまたはFD）
最大細断枚数	10枚（A4PPC　64g／m^2）	1枚（CD−ROMまたはFD）
細断可能物	PPC紙等の紙 （カーボン紙、湿った紙、ダンボール、化学紙は細断しないでください）	CD−ROM、FD

保証規定

1. 保証期間中、取扱説明書及び本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態において、万一故障が生じた場合は、無料修理を致します。
2. 次のような場合には、保証期間内でも無料修理の対象とはなりません。
（ただし、有料にて修理・仲介を受け付けることがあります。）
（1）本書の提示がない場合。
（2）本書に保証期間、使用者名の記載がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
（3）お取扱の不注意又は不当な修理改造による故障および損傷。
（4）カッターの磨耗に伴う研磨代金。
（5）取扱説明書記載の細断可能物以外の細断にお使いになった場合の故障および損傷。
（6）直接であると間接であるとを問わず、次に掲げる事由によって生じた故障および損傷。
① 戦争、外国の武力行使、革命、政権略奪、内乱、武装反乱その他これらに類似の事変または暴動（群集または多数の者の集団の行動によって、全国または一部の地区において著しく平穏が害され、治安維持上重大な事態と認められる状態をいいます。）
② 地震もしくは噴火またはこれらによる津波。
③ 本製品の自然の消耗・摩滅・さび・かび・むれ・腐敗・変質・変色その他類似の事由。
④ 使用者の本製品の不適切な使用または不適切な維持・管理。
⑤ 核燃料物質（使用済燃料を含みます。以下同様とします。）もしくは核燃料物質によって汚染された物（原子核分裂生成物を含みます。）の放射性、爆発性その他の有害な特性またはこれらの特性による事故。
⑥ 火災、落雷、破裂、爆発、または外部からの物体の落下、飛来、衝突もしくは倒壊等の偶然かつ外来の事由。
⑦ 地盤変動または地盤沈下。
⑧ 本製品以外の財物の故障。
（7）本製品の代替品に故障および損傷が生じた場合。
（8）本製品の引渡し時に自動的に交付される本保証書以外の他の保証書において修理の対象となる故障および損傷。
3. 次の損害は本保証の対象となりません。
（1）本製品の故障に起因して生じた身体障害（障害に起因する死亡を含みす。）または本製品以外の財物の滅失、き損もしくは汚損によって生じた損害。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 保証期間開始後本製品を譲渡する場合には、あらかじめ当社にその旨を文書にて通知してください。
6. 故障および損傷の認定等について当社と使用者の間で見解の相違が生じた場合には、当社を通じて中立的な第三者の意見を求めることがあります。
7. 機械交換に伴う保証期間については、交換された機械であっても最初に購入された日より起算するものとします。